

種まきかきつばたの育て方

令和8年4月3日現在

種まき時季	種まき時季は9月末～11月中旬が最適です。種から育てたカキツバタは2年後約30%、3年後100%花が咲きます。
種の水漬け 土の種類	種まき前に10日間水中に種を浸す。(水面に種を浮かすのではない) プランターの底に新聞紙を2枚敷きその上に花と野菜の培養土を30～40mmの深さまで入れてジョーロにて水を全体が湿るまでまく。
種まき深さ	湿った土の上に種をまき、その上に10～15mm土をかけ、ジョーロで全体に水をまく。種まきが完了したら種まき日を記入した札を立てる。
水やり	3日に1回水やりし、常に土が湿った状態に保つことが重要です。プランターの下に水をはる必要はありません。
発芽	10月初旬種まきすると、3月下旬頃発芽します。発芽を確認したら毎日朝晩水やりして土が常に湿った状態に保つ。発芽率は約10%。
移植①	かきつばたの苗が約50～100mmに成長したら1苗毎、75mmのポットに移植する。使用する土は花と野菜用土50%と赤玉土50%。移植後はトレーにポットを置き水を常時ポットの高さ半分まで入れる。
移植②	苗が150～200mmに成長したら120mmのポットに移植する。土は花と野菜用土50%と赤玉土50%。かきつばたの根は想像以上に伸びるので苗はポット上面近くに植え、下面に土を十分確保すること。8月～9月の移植はしないこと。
水やり	かきつばたは水生植物で想像以上に水を吸収するので、毎日朝晩水やりしてトレーに水を常時ポットの高さ半分以上まで確保して下さい。
肥料	移植②後2週間したら苗根元から30～40mm離れた所に有機固形肥料(1B化成肥料小粒)を5～6個をまく。肥料はチッ素5:リン酸5:カリ5(この比率に近い有機肥料でOK)肥料を施す時期は3月初旬(開花前、少し多め)6月中旬(開花後)9月上旬
水管理	鉢植えで育てる時は、鉢ごと水につけ、株元が必ず水につかるように水位を調節します。地植えの時は、浅めに植えこむか水位を調節し、深く沈み過ぎないように気を付けること。1年を通じ水中に沈めて育成する。
日照	半日以上日が当たる、日当たりの良い場所に置いて下さい。
越冬	屋外にて越冬し、翌年も生育しますので、1年を通じ水を切らさないこと。
株分け	株が込みいってきたら花が咲いた後、葉を半分の高さで切り6月初旬～7月初旬頃に2～3株まとめて株分けし移植して下さい。

☆八橋町にお住まいのかきつばた愛好家の方よりご提供いただきました。